

国道16号(保土ヶ谷バイパス)が

全国一位の交通量(約10万9千台/12h)

記者発表資料

平成17年度 道路交通センサス(全国道路交通情勢調査)

神奈川県内における一般交通量調査結果の概要についてお知らせします。

- 神奈川県内において、横浜国道事務所、神奈川県、横浜市、川崎市、東日本高速道路(株)、首都高速道路(株)、中日本高速道路(株)と連携して、平成17年9月から11月にかけて、交通量、旅行速度、道路状況などを調査する「平成17年度道路交通センサス」を実施しました。
- 道路交通センサスは、昭和3年度に初めて実施され、昭和55年度以降は概ね5年毎に実施している調査で、この調査結果は将来の道路計画や都市計画の策定あるいは道路の維持、修繕を行うための貴重な資料となるものです。
- 神奈川県内の一般交通量調査の結果がまとまりましたので、概要を公表いたします。なお、全調査箇所の交通量等詳細データについては、関東地方整備局(さいたま新都心)の他、横浜国道事務所においても閲覧しております。

■ 神奈川県内の調査結果の概要

- ・ 平日昼間の交通量は、国道16号(保土ヶ谷バイパス)が約10万9千台で**県内一**で**全国でも一位**(P2)
- ・ 休日昼間においても、同様に国道16号(保土ヶ谷バイパス)が約9万1千台で**県内一**であり**全国でも一位**(P3)
- ・ 平日の平均交通量は約23,200台/24hで、平成11年度と概ね同程度。
全国平均と比べて**約2.9倍**で、関東甲信地域平均の**約1.9倍**(P5)
- ・ 夜間の交通量比は、平成9年度から概ね横ばい(P6)
- ・ 混雑時平均旅行速度は**25Km**であり、平成9年度とほぼ同水準
全国の35.3Km/hと比べると**約70%**、関東甲信地域の31.0Km/hと比べると**約80%**の水準(P7)



平成18年 7月31日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、川崎記者クラブ

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 tel 045-316-3536

計画課長 竹 林 秀 基

■道路交通センサス一般交通量調査の概要

道路交通センサス一般交通量調査は快適な道路利用のための調査で、調査結果をもとにみなさまの身近な道路の計画立案に活用いたします。また、普段利用している道路の交通量データなど、道路管理者のみならずご活用頂けます。

道路交通センサス 一般交通量調査



調査結果の活用



■各種交通量のトップ10

昼間12時間交通量が最も多い地点は、**国道16号（保土ヶ谷バイパス）**の10万9千台で**全国でも1位**である。一般道路では、横浜市路線が上位地点の大半を占めている。

表1 平日昼間12時間交通量の上位5地点（高速自動車国道）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	76,279	6	東名高速道路	横浜市・神奈川県境～厚木IC間
2	64,629	6	東名高速道路	横浜青葉IC～横浜町田IC間
3	63,995	6	東名高速道路	東名川崎IC～川崎市・横浜市境間
4	61,192	6	東名高速道路	世田谷区・川崎市境～東名川崎IC間
5	48,010	6	東名高速道路	厚木IC～秦野中井IC間

表2 平日昼間12時間交通量の上位5地点（首都高速道路）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	50,882	4	高速神奈川1号横羽線	川崎市川崎区池上新町3丁目
2	50,487	4	高速神奈川1号横羽線	横浜市神奈川区千若町1丁目
3	50,072	6	高速湾岸線	川崎市川崎区東扇島
4	49,232	4	高速神奈川1号横羽線	横浜市中区桜木町1丁目
5	49,174	4	高速神奈川3号狩場線	横浜市保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町

表3 平日昼間12時間交通量の上位5路線（一般有料道路）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	88,481	6	横浜新道(国道16号)	新保土ヶ谷IC～狩場IC間
2	80,037	6	第三京浜道路(国道466号)	港北IC～保土ヶ谷IC間
3	69,843	6	横浜新道(国道1号)	起点～新保土ヶ谷IC間
4	40,183	4	横浜横須賀道路(国道16号)	狩場IC～別所IC間
5	22,290	4	小田原厚木道路(国道271号)	平塚IC～伊勢原IC間(城所架道橋)

表4 平日昼間12時間交通量の上位10路線（一般道路）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	108,571	6	国道16号(保土ヶ谷バイパス)	横浜市旭区桐ヶ作1492
2	56,940	4	国道1号	横浜市戸塚区矢部新田1419
3	46,393	4	国道246号	大和市上草柳8丁目1
4	45,434	6	環状2号線	横浜市保土ヶ谷区東川島町21
5	38,105	6	東京大師横浜	川崎市川崎区小田7丁目3
6	36,325	6	横浜伊勢原線	横浜市港南区野庭町24
7	34,481	6	新横浜元石川線	横浜市港北区小机町1728
8	34,360	4	国道357号	横浜市金沢区鳥浜17
9	34,321	4	川崎町田線	川崎市幸区大宮町29
10	34,033	6	国道15号	横浜市神奈川区東神奈川2

(注) 車線数が4以上の区間を対象とした。

★一般道路平日昼間12時間交通量ベスト3

[第1位]



[第2位]



[第3位]



休日交通量が最も多い路線は平日と同様の国道16号（保土ヶ谷バイパス）の9万1千台で、**全国一**の交通量である。

表5 休日昼間12時間交通量の上位5地点（高速自動車国道）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	71,636	6	東名高速道路	横浜市・神奈川県境～厚木IC間
2	63,030	6	東名高速道路	東名川崎IC～川崎市・横浜市境間
3	62,734	6	東名高速道路	横浜青葉IC～横浜町田IC間
4	61,824	6	東名高速道路	世田谷区・川崎市境～東名川崎IC間
5	48,710	6	東名高速道路	厚木IC～秦野中井IC間

表6 休日昼間12時間交通量の上位5地点（首都高速道路）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	38,796	6	高速湾岸線	川崎市川崎区東扇島
2	34,136	4	高速神奈川1号横羽線	川崎市川崎区池上新町3丁目
3	33,472	4	高速神奈川3号狩場線	横浜市保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町
4	33,215	4	高速神奈川1号横羽線	横浜市中区桜木町1丁目
5	31,187	4	高速神奈川1号横羽線	横浜市神奈川区千若町1丁目

表7 休日昼間12時間交通量の上位5路線（一般有料道路）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	76,263	6	横浜新道(国道16号)	新保土ヶ谷IC～狩場IC間
2	66,907	6	横浜新道(国道1号)	起点～新保土ヶ谷IC間
3	61,491	6	第三京浜道路(国道466号)	港北IC～保土ヶ谷IC間
4	38,175	4	横浜横須賀道路(国道16号)	狩場IC～別所IC間
5	24,189	4	小田原厚木道路(国道271号)	二宮IC～平塚IC間(平塚料金所)

表8 休日昼間12時間交通量の上位10路線（一般道路）

順位	交通量 (台/12h)	車線数	路線名	観測地点名
1	91,400	6	国道16号(保土ヶ谷バイパス)	横浜市旭区今川町
2	63,159	4	国道1号	横浜市戸塚区矢部新田1419
3	46,769	6	国道246号	厚木市栄町1丁目
4	37,204	6	環状2号線	横浜市港北区新横浜2丁目1-8
5	31,171	4	横浜生田線	横浜市西区北軽井沢27
6	28,167	4	野川菅生線	川崎市宮前区犬蔵1丁目1
7	27,444	4	国道357号	横浜市金沢区鳥浜17
8	27,382	4	国道129号	相模原市上溝2322-2
9	27,005	4	環状4号線(鴨志田線)	横浜市緑区霧ヶ丘2丁目2-11
10	26,697	4	川崎町田線	川崎市幸区大宮町29

(注) 車線数が4以上の区間を対象とした。

平日の交通量に対する休日の交通量の割合(以下、平休比)が大きな路線は、高速道路では山梨、長野などの観光地に通じる中央自動車道が上位である。また、一般有料道路や一般道路も箱根や伊豆方面等の観光地や行楽地へ通じる道路が上位に位置している。首都高の利用は、休日に比べ平日の利用が多い状況が分かる。

(注) 平休比: 休日の交通量 ÷ 平日の交通量

表9 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位5地点(高速自動車国道)

順位	交通量(台/12h)		平休比	車線数	路線名	観測地点名
	平日	休日				
1	28,874	36,118	1.25	4	中央自動車道富士吉田線	相模湖東IC～相模湖IC間
2	31,246	38,457	1.23	4	中央自動車道富士吉田線	相模湖IC～神奈川県・山梨県境間
3	43,205	46,628	1.08	6	東名高速道路	秦野中井IC～大井松田IC間
4	48,010	48,710	1.01	6	東名高速道路	厚木IC～秦野中井IC間
5	61,192	61,824	1.01	6	東名高速道路	世田谷区・川崎市境～東名川崎IC間

(注) 休日交通量が10,000台/12h以上を対象とした。

表10 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位5地点(首都高速道路)

順位	交通量(台/12h)		平休比	車線数	路線名	観測地点名
	平日	休日				
1	50,072	38,796	0.77	6	高速湾岸線	川崎市川崎区東扇島
2	34,282	25,952	0.76	6	高速湾岸線	横浜市金沢区鳥浜町
3	36,030	25,254	0.70	4	高速神奈川2号三ツ沢線	横浜市神奈川区三ツ沢西町
4	49,174	33,472	0.68	4	高速神奈川3号狩場線	横浜市保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町
5	49,232	33,215	0.67	4	高速神奈川1号横羽線	横浜市中区桜木町1丁目

(注) 休日交通量が10,000台/12h以上を対象とした。

表11 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位5路線(一般有料道路)

順位	交通量(台/12h)		平休比	車線数	路線名	観測地点名
	平日	休日				
1	10,573	16,709	1.58	4	小田原厚木道路(国道271号)	小田原西IC～荻窪IC間
2	4,855	7,600	1.57	4	西湘バイパス(国道1号)	石橋IC～石橋TB間
3	4,506	5,172	1.15	2	箱根新道(国道1号)	山崎IC～箱根峠IC間
4	3,769	3,855	1.02	4	新湘南バイパス(国道1号)	茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸IC間
5	30,331	30,363	1.00	4	横浜横須賀道路(国道16号)	釜利谷JCT～朝比奈IC間

(注) 休日調査区間のうち、休日交通量が3,000台/12h以上を対象とした。

表12 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10路線(一般道路)

順位	交通量(台/12h)		平休比	車線数	路線名	観測地点名
	平日	休日				
1	3,176	5,835	1.84	2	国道413号	相模原市津久井町青野原
2	6,705	11,228	1.67	2	国道1号	足柄下郡箱根町宇畑引山
3	8,195	10,978	1.34	2	国道135号(真鶴道路3期)	足柄下郡真鶴町
4	9,360	11,700	1.25	2	国道134号	三浦郡葉山町下山口1488
5	10,213	12,383	1.21	2	国道412号	相模原市津久井町長竹1226
6	9,041	10,571	1.17	2	国道138号	足柄下郡箱根町仙石原1236-27
7	12,368	14,325	1.16	2	国道246号	足柄上郡山北町透間
8	11,320	12,996	1.15	2	丸子中山茅ヶ崎線	茅ヶ崎市円蔵2433
9	11,137	12,709	1.14	2	横須賀葉山線	三浦郡葉山町木古庭608
10	12,330	14,060	1.14	2	町田厚木線	座間市四ツ谷772

(注) 休日調査区間のうち、休日交通量が3,000台/12h以上を対象とした。

■交通量の状況

神奈川県内の全車の平日24時間平均交通量は、約23,200台/24hと、平成11年度と比べて概ね同程度の交通量である。乗用車の貨物車に対する割合が増加傾向にある。

全車の平均交通量は、関東甲信地域の約12,400台/24hに比べて約1.9倍の交通量であり、全国の約8,000台/24hと比べて約2.9倍の交通量である。

(注) 平均交通量: 各調査単位区間ごとの交通量を延長で加重平均したもの

乗 用 車 : 乗用車、バス

貨 物 車 : 小型貨物車、普通貨物車

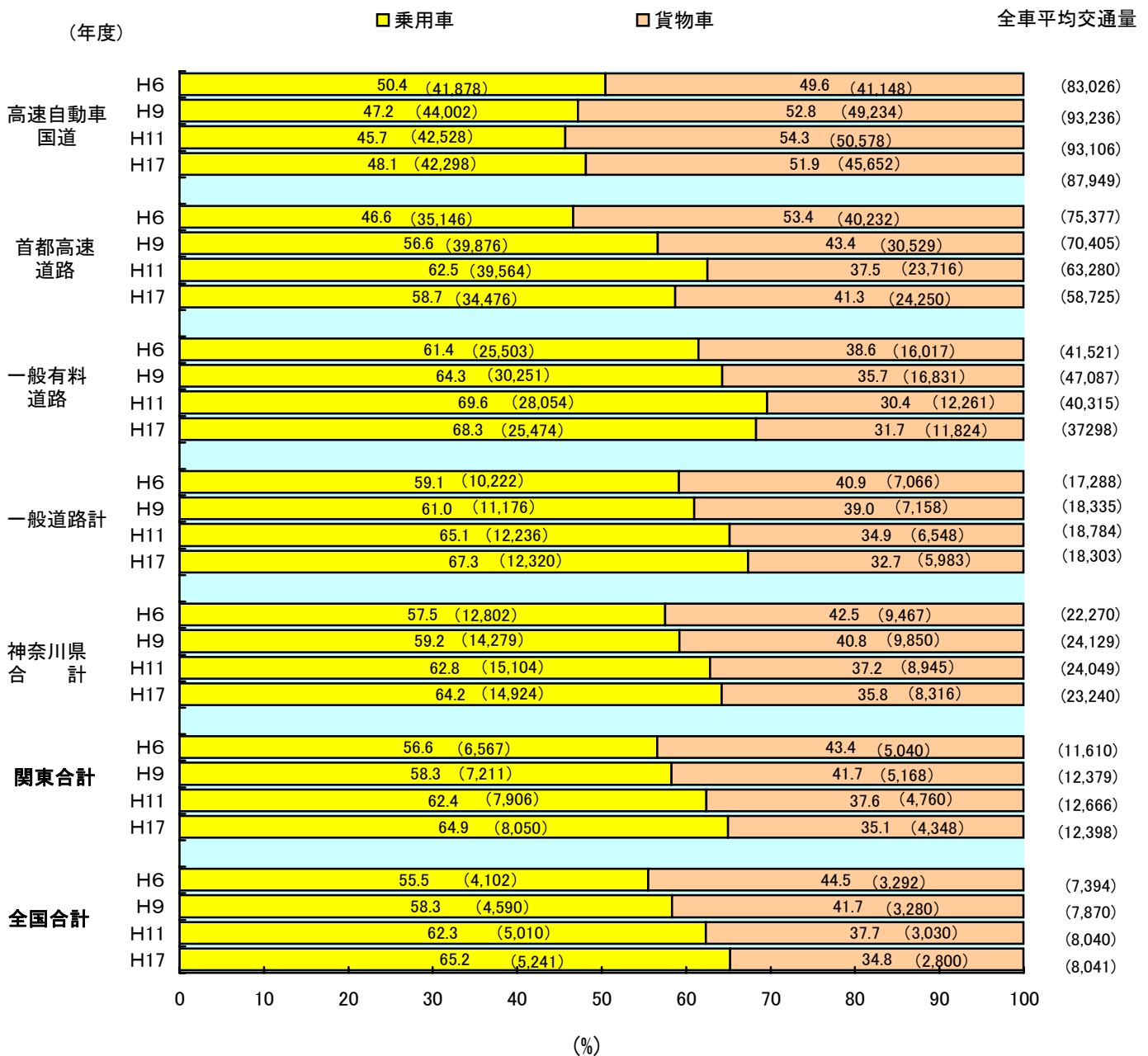


図1 平均交通量の車種構成比の推移

(注) ()内は平均交通量で台/24h

■夜間交通量の状況

夜間交通量の日交通量に対する比率は、高速自動車国道は平成2年度から概ね横ばいで推移しており、首都高速道路、一般有料道路は平成11年度にやや上昇したが、平成11年度と比較すると減少傾向にある。

国道は平成6年から11年度で増加傾向を示したが、平成17年度では横ばいとなった。

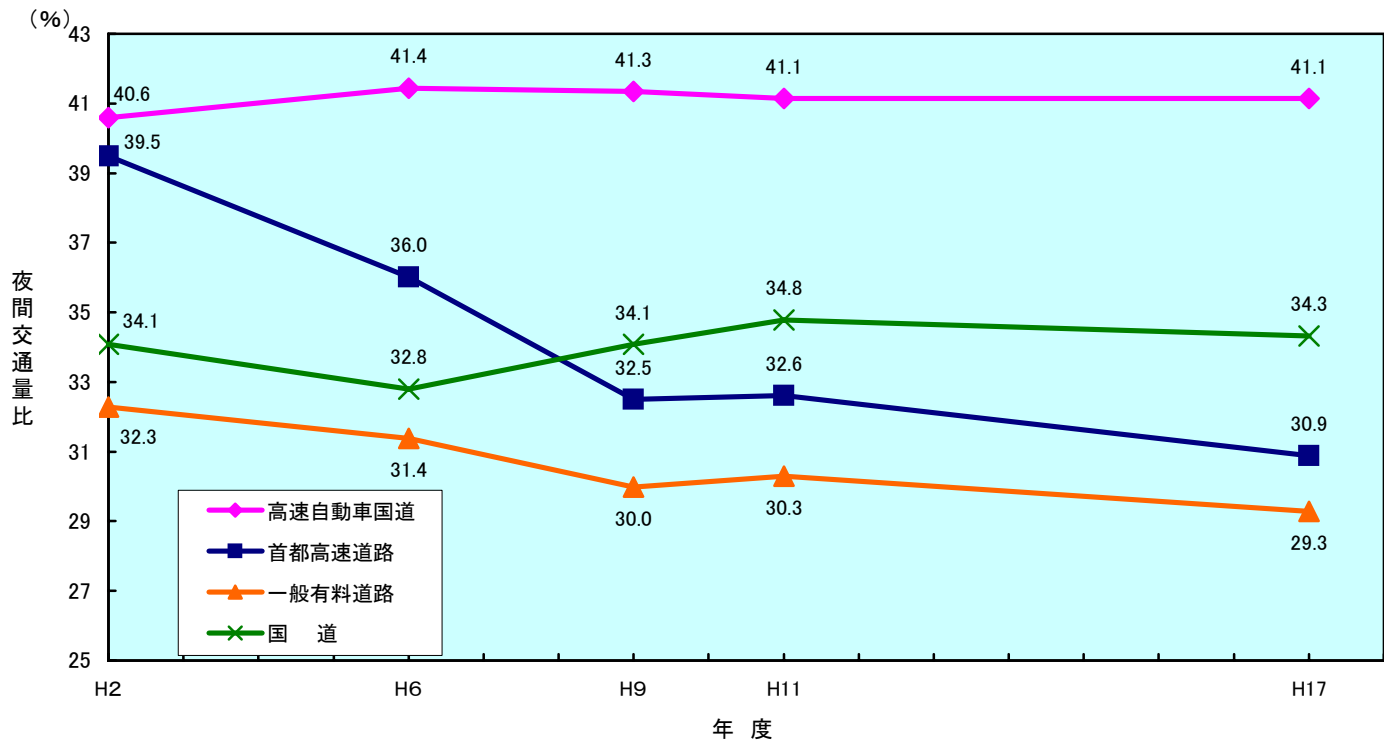


図2 道路種別別夜間交通量比の推移(神奈川県)

(注) グラフ内の数値は夜間交通量(19時～翌7時)の日交通量に対する比率である。

■混雑時旅行速度の推移

神奈川県内の混雑時平均旅行速度は、平成17年度で**25.0Km/h**（道路種別合計）であり、また、人口集中地区（DID）においても**21.5Km/h**といずれも平成11年度と同水準である。また、**全国**の平均旅行速度**35.3Km/h**と比べると**約70%**、**関東甲信地域**平均旅行速度**31.0Km/h**と比べると**約80%**の水準である。

（注）平日の混雑時旅行速度：調査単位区間を朝又は夕方いずれかのラッシュ時間帯（7:00～9:00、17:00～19:00）に混雑方向に実走行した際の平均速度。

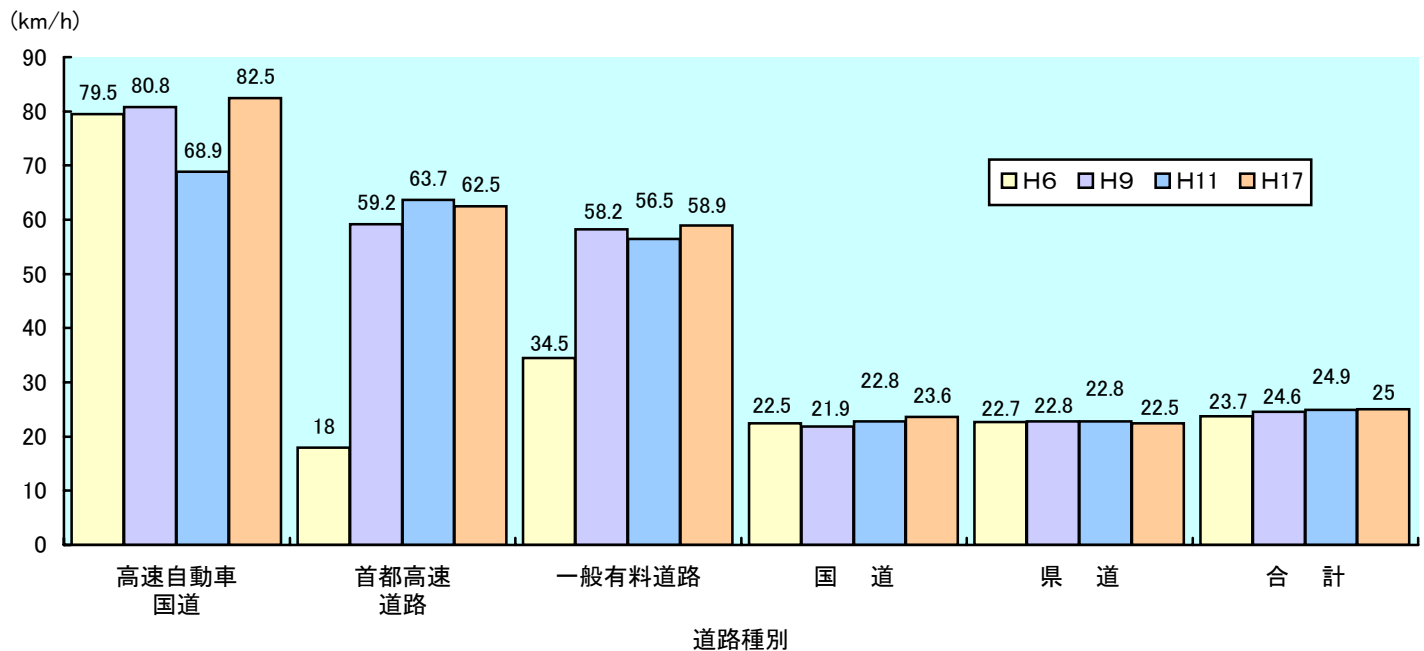


図3 道路種別別混雑時旅行速度の推移(平日)

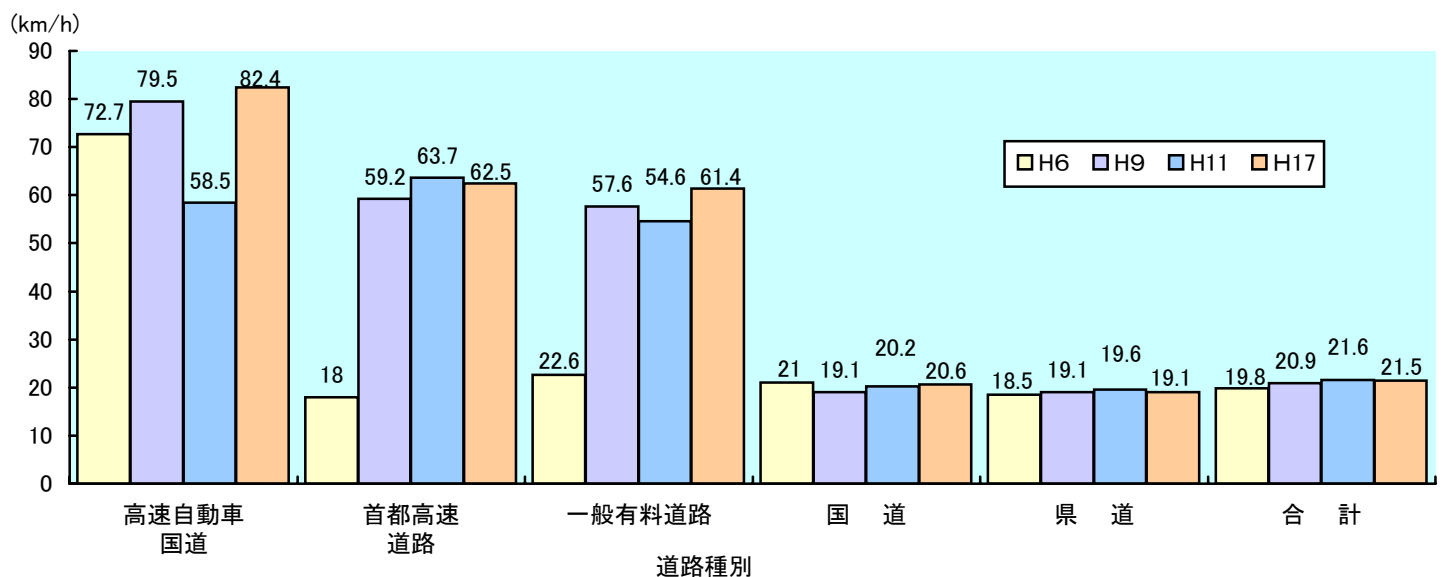


図4 道路種別別混雑時旅行速度の推移(平日・DID)

（注）DID:人口集中地区。市区町村の境界内で人口密度の高い基本単位区(約4,000人/Km2以上)が隣接して、それらの人口が5,000人以上となる地域。

■その他の道路整備水準

神奈川県内の一般道路について、幅の広い歩道設置率、四車線化率、道路緑化率は平成11年度からわずかながら増加している。

表13 一般道路の整備水準の推移

年 度	歩 道				四車線化		道路緑化		調査延長 km
	設置延長 km	設置率 %	うち幅広 歩道	率 %	延長 km	率 %	延長 km	率 %	
H2	1,214.1	63.4	266.2	13.9	362.9	19.0	352.6	18.4	1,914.1
H6	1,260.2	65.4	291.1	15.1	385.0	20.0	379.0	19.7	1,928.0
H9	1,281.4	66.4	318.5	16.5	431.1	22.3	402.0	20.8	1,930.6
H11	1,353.9	69.4	350.6	18.0	461.8	23.7	428.3	22.0	1,949.5
H17	1,364.1	69.4	356.6	18.1	477.5	24.3	447.2	22.7	1,966.3

(注) 1. 幅広歩道とは歩道幅員が3m以上の歩道である。

2. 道路緑化とは道路内に植樹帯、路傍植栽、街路樹、中央分離帯・交通島の植栽が形成されている部分。

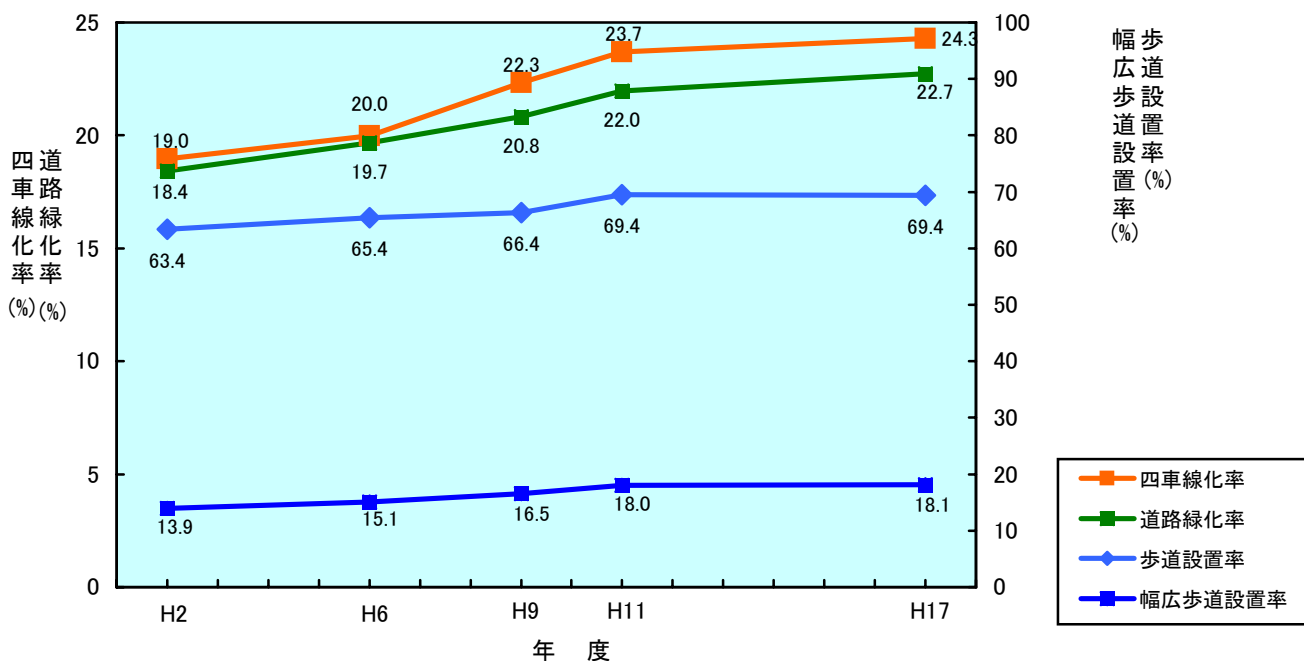


図5 一般道路の整備水準の推移